

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		道路補修事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	050302000372
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系	0503		道路網の整備				建設課		
	政策名		05 快適な暮らしのまちづくり				課長名		
	施策名		03 道路網の整備				グループ		
	手段名		02 ②市道の危険箇所の整備				建設グループ		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
法令根拠	01	08	02	02	01	00	道路維持事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
道路パトロール等で発見した、道路や側溝等の補修が必要な箇所、危険な場所及び区長等からの要望・苦情等の申請や連絡等があった場合、現地調査をして工法等を検討し職員で対応出来る箇所については速やかに補修を行い、その他対応できない場合は、測量・設計等を行い入札・発注する。工事完了の確認検査を行い、工事費の支払いを行う。	要望・苦情の受付、現地調査、工法検討、測量設計、入札発注、完了検査、工事費支払い。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各地区の区長からの要望等があった場合に現地調査を行い軽微なものに対しては職員・直営で対応し、その他は、工法等をグループ内で協議し工事業者に依頼して工事発注する。工事が完了したら工事費を支払います。	要望・苦情件数	件	673.00	655.00	690.00	690.00	690.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市道・水路対象	直営・工事件数	件	580.00	494.00	600.00	600.00	600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
道・水路の補修をすることにより、安全に通行・排水を確保できる。	要望・苦情件数と直営・工事件数の対照率	%	86.18	75.40	80.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		01年度	02年度	03年度		期間限定
		(実績)	(実績)	(計画)		総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	57,766	40,000	36,747
	事業費計(A)	千円	57,766	40,000	36,747	
	正規職員従事人数	人	8.00人	7.00人	7.00人	

		02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	10 需用費	5,000		10 需用費	6,747
	14 工事請負費	35,000		14 工事請負費	30,000
		合計	40,000	合計	36,747

事務事業名	道路補修事業	事務事業No.	50302000372	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 道路維持管理を行わなくては、事故誘発の要因となる。市に道路維持管理を開始した時から市道・水路補修・舗装率が向上する中、補修・舗装の耐久年数が概ね10年と考えられているため過去5年前と比べると道・水路補修・舗装箇所も年々増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民には、早急な対応が求められている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 道路等の維持補修を行うことによって安全な通行を確保し、事故誘発の要因にならない道路に結びつく
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 道路管理者として、維持補修・修繕を行うことが義務であり、放置状態ならば事故誘発の要因となり道路管理者責任となる
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 道路維持補修事業は、道路を通行する方々の安全確保し道路維持管理に努める
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事故誘発の要因となり、道路維持管理者責任となる
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 毎年単価契約をしているため削減余地がない
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である すべての道路利用者に対して公平・公正である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	道路管理者としては、危険性・緊急性の高い箇所を最優先に補修し、通行車両・歩行者等の安全確保を図っている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	